

# G

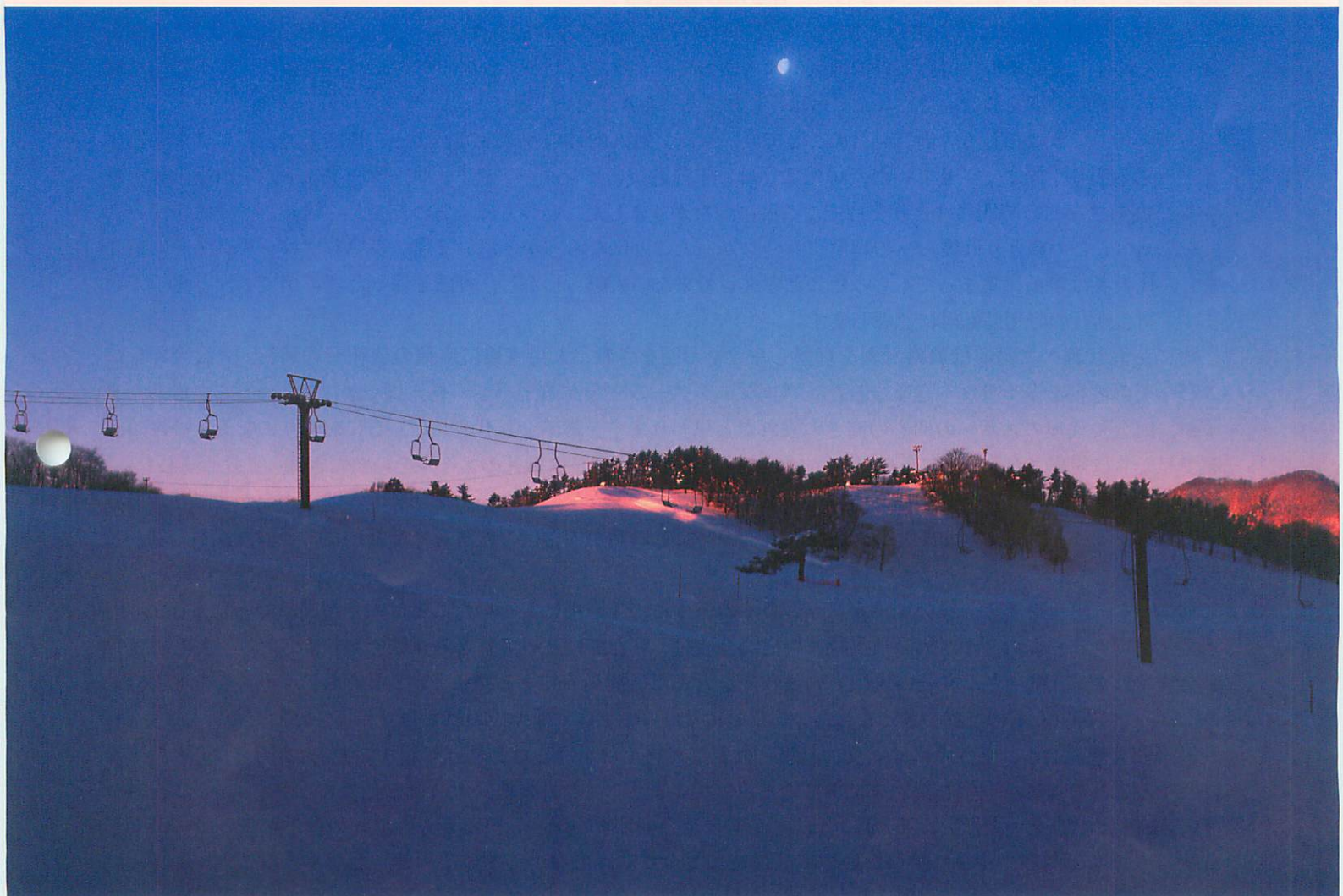
# GOVERNOR's

## Monthly Letter



Rotary  
International  
District 2800  
2013-2014

ガバナー月信



夜明けの時



District Governor

**2800**  
2013-2014

国際ロータリー第2800地区【2013-2014年度】

ガバナー 新関 彌一郎 RI会長 ロン D. パートン  
RI理事 松宮 剛 RI理事 北 清治



# 2013-2014年度 第2800地区 地区大会を終えて

2013-2014年度 ガバナー 新関彌一郎

台湾から謝 炎盛RI会長代理をお迎えして11月9日・10日に開催された「2013-2014年度 第2800地区・地区大会」が無事終了したことに安堵しています。あまり飾らず、シンプルな大会、それでいてやるべきことはやったと自負しております。やっかといってもそれは自分ではなく、当たり前なことを当たり前になし、大会を作り上げてくれた工藤一夫大会実行委員長はじめホストクラブ、コ・ホストクラブのメンバーの皆さんのお陰なのです。準備に駆け回る皆さん、また、当日の忙しさの中の皆さんの顔を見て、何度も心の中で感謝をし、また、感激の涙をこらえました。本当にありがとうございました。皆さんのお陰です。

大会は、時間の配分に気を遣いました。大会初日の「地区指導者育成セミナー」では、講演が予定より1時間10分も早く終了してしまい、司会の志田地区幹事もあわてたようでしたが、会場の皆さんが、RI会長代理へ質問を続けてくれて約40分間をつないでくれたことは、これまた、ありがたいことでした。

時間のやりくりはむしろ大会二日目のことです。来賓、地区内外のバスタガバナー、地区委員、各クラブの紹介など出来る限り手際よくさせていただいたことは、午前最後のインターアクト、ローターアクト、米山奨学生、青少年交換学生などの時間にゆとりを持たせたことにつながりました。いつもは、あわただしく紹介、事業報告することを思えば、このゆとりは彼らへの理解にもつながったことになろうかと思えます。表彰もプロジェクターに紹介をし、代表者は事前に集まってもらったことでダレの来ない表彰、しかし、威厳を保った表彰ができたと思っています。司会進行の野川晶弘君に感謝します。

謝RI会長代理のご講演は戦略計画を理解しやすくお話をされ、大会直後に原稿の依頼が殺到し、大会翌々日にスピーチの原稿を全クラブへ送りました。プロジェクターの文字が若干小さく見えにくかったということもありますが、RI会長代理のお話への関心の高さの表れだと思われまます。謝RI会長代理は、11日にお帰りになるまで終始笑顔で私たちに対応され、本当に感謝でいっぱいです。ご帰国の翌日に御礼のメールをいただきほっと致しました。

私も、地区重点目標を公式訪問の流れの一部として話すことができ、今後のクラブの実践につながることであります。また、東日本大震災への取り組みについてもお話ができ、ご理解をいただいたことはうれしく思っております。

何よりも、記念講演を一般公開講座にし、多くの皆さんにご来場いただいたことは大きな成果でありました。山形大学の研究チームの「ナスカの地上絵」の研究発表は、私たちにとって驚きの連続でありました。一人の研究者の発表ではなく、学生さんや若い先生方の体験談を含んだ研究発表であったことが、私たちに「ナスカの地上絵」を、いっそう身近なものと感じさせました。昨年の10月からの工藤・緑両氏の打ち合わせが実を結んだのでしょう。

最後の懇親会も、皆さんには立食、混雑と大変ご迷惑をおかけしたと思っております。しかし、800名が一堂に会することの価値を選択した効果はあったと思っております。「今日の地区大会はどうでしたか・・・」の問いかけに、拍手と歓声をいただいたことはうれしく思います。同期ガバナー、PDGからの温かい握手が良い思い出です。最後にみんなで歌った「手に手つないで」は最後まで全く乱れない「手に手の輪」となりました。鞍掛ソングリーダーに感謝です。そして、何よりも感謝しなければならないのは、エイドをお引受けいただいた藤川享胤バスタガバナーと通訳の尤さんです。エイドとはかくあるべきと勉強をさせていただきました。尤さんも難しい通訳を三日間ありがとうございました。

感謝、感謝、とにかく、皆さんに感謝いっぱいの地区大会でありました。

# 国際ロータリー第2800地区 2013-2014年度 地区大会

「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」

レポート特集

11月9日(土) 場所：天童ホテル

## ★地区大会委員会(10:30~11:00)

4つの委員会に分かれ審議の上、重要要項が決議されました。



◇地区大会委員会

<登録委員会:5名 委員長:直前G和田廣>



◇地区大会委員会

<資格審査委員会:5名 委員長:PG細谷伸夫>



◇地区大会委員会

<選挙委員会:6名 委員長:PG塚原初男>



◇地区大会委員会

<決議委員会:6名 委員長:PG佐藤豊彦>

## ★R.I.会長代理を囲む昼食会(11:45~12:45)

第2800地区大会のために来日された謝炎盛R.I.会長代理を歓迎する昼食会が、パストガバナー、ガバナー補佐、大小委員会委員長を加え和やかに開催されました。





## ★第一回 本会議(13:30~14:50)

「地区大会」の最重要会議として、第一回本会議が謝炎盛R.I.会長代理を迎え、新関彌一郎ガバナーの点鐘により開会。工藤一夫大会実行委員長の歓迎の挨拶、新関ガバナーの挨拶の後、謝炎盛R.I.会長代理から、国際ロータリーの現況と理念を含めたご挨拶・メッセージがあった。会議では、地区大会委員長・4委員会の報告、さらに各委員会の活動報告がなされた。

また、次期「地区大会」の開催地は、鶴岡市と発表された。

## ★地区指導者育成セミナー(15:00~16:40)

新関ガバナーの挨拶と講師紹介の後、謝炎盛R.I.会長代理による講演「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」がスライドを用いて懇切に話された。ロータリーの愛と本質の实践を通し、豊かに真実の人生を生きることがどんなに素晴らしいことなのか……。深い印象を与えてくれた。

### 国際ロータリーRI会長代理 挨拶

2011-2014年 ゾーン10セクションBロータリーコーディネーター (RC)  
謝炎盛 (Yen-Shen Hsieh シェ・イェン・ション) 1950年9月26日生



親愛なる新関彌一郎ガバナー、ガバナーご夫人の新関恵子様、エイドのPDG藤川享胤様、ロータリアンの皆様及びゲストの皆様、こんにちは。

国際ロータリー ロン D.バートン会長及び会長夫人のジェタ様を代表して貴第2800地区大会に出席することができて大変嬉しく思っております。

地区大会は、地区ごとに1年に1度最も重要な行事です。この二日間の大会でロータリアンは、もっと他ロータリアン及びその家族と知り合う良い機会です。他地区のロータリアン諸先輩方に会うとロータリーのことについていろいろな知識と経験を教えてもらえます。同時に、新世代青少年奉仕グループの友達に多くの励ましと指導を与えます。そして、今年度、地区の奉仕計画及び交流活動をもっと理解することができます。ロータリークラブが過去1年に実行した素晴らしい成績と経験をシェアすることができます。それによってロータリーのことをもっと理解することができます。私たちの奉仕精神を肯定することができます。また、成果の喜びと栄光を分かち合うこと及びロータリアンとしての高い価値です。以上は、地区大会における素晴らしいところです。

初めて貴山形地区大会に参加しに参りました。この二日間、滞在期間に第2800地区の多くのロータリアン及びその家族たちと知り合うこと、山形地区の県民性を理解することを期待しています。また、他ロータリアンと交流して互いにロータリー経験を分かち合うことも望んでいます。

ここで貴国が2020年オリンピック・パラリンピックの主催国に決定することを心よりお祝い申し上げます。オリンピック・パラリンピックの主催を通して世界に日本文化の美しさ及び民族特徴をもっと理解してもらえるとともに、オリンピックの準備によって貴国の経済発展にも強い推進力になると思います。誠にありがとうございます。

今日は、地区大会を祝って奉仕経験を分かち合う時に皆様をもっと確実に今年のRIロン D.バートン会長が推進しているロータリーの年度テーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」を实践してロータリー奉仕活動に参加することによって人類をもっと幸福にし、世界にもっと素晴らしさをもたらせたいと願います。

皆様には、楽しく充実した地区大会であるよう心より祝福致します。





## ★R.I.会長代理歓迎晩餐会

謝炎盛R.I.会長代理の歓迎晩餐会は、第2800地区内外のバスターガバナー、同期ガバナー、地区委員長、ガバナー補佐、クラブ会長・幹事らの参加のもと、盛大に開催。歓迎演奏やあたたかい雰囲気の中で会食と懇談が繰り広げられた。

11月10日(日) 場所：天童市市民文化会館



◇青少年交換学生・インターアクト・ローターアクト・米山奨学生・米山学友会の紹介と活動報告

## ★第2回本会議(9:30～12:30)

## 特別講演・一般公開講座「山形大学のナスカ地上絵研究」(13:30～)

世界で唯一現地調査を実施している山形大学プロジェクトチームの成果を公開していただきました。

山形大学学長	結城 章夫 様
山形大学人文学部長	北川 忠明 様
山形大学人文学部教授	坂井 正人 様
山形大学名誉教授	阿子島 功 様
山形大学人文学部教授	渡邊 洋一 様
山形大学人文学部教授	本多 薫 様
山形大学人文学部准教授	伊藤 晶文 様
山形大学人文学部准教授	松本 雄一 様
山形大学人文学部客員研究員	瀧上 舞 様



午後一時半より一般聴衆者140名を入れて、講演が始まる。工藤一夫実行委員長より挨拶があり、講演について説明された。

## ★講演

### ◇北川 忠明 山形大学人文学部長

本日はナスカ地上絵研究にたくさんの方より興味を持って頂き感謝します。現地の研究所での活躍が様々な方より協力を得て、世界的な研究になっています。現地調査できている外国人は、この山形大学チームだけです。ナスカ地上絵は世界七不思議の一つですが、その謎を解明していきたい。今日はその最前線を皆様にお知らせします。

### ◇阿子島 功 山形大学名誉教授 (ナスカプロジェクト立ち上げ当時の先生)

環境地理学の分野から調査している。

ナスカはどんなところか、なぜ絵が消えなかったのか、その土地の人はどこにいったのかを調べている。

乾燥した土地で日本の十分の一の人口、インカ帝国の末裔が住んでいた。スペイン人が住み始めインカ帝国が滅び、カソリックになった。地形は日本をちょうど反対にしたような地形。津波も起こる。気候は海岸砂漠でナスカまでずっとこのような風景。年間降水量13mm。ミイラになりやすい。海岸からの冷たい海流と風。海岸の反対側には2000m級の山脈。

1500年間なぜ絵は消えなかったのか。砂利を移動させて描いているが、風では移動しない大きさ。竜巻、砂嵐が頻繁にあるが、砂利は風で動きにくい、砂丘の細かい砂も届いていない。雨は少ないので、そのままの状態が続いている。(地上絵の図形を示し)一段と高い安定した場所に描かれているので、雨でも流されない。有名な地上絵は文化庁できれいにしているのではっきりしている。地上絵が壊されるのは、人からであり、高速道路や道などが壊している。

ナスカの人は乾燥で滅びた。谷のオアシスには緑があるが、途中は伏流するために地上に水がない。地下水になっている。その変化を調べるためにカタツムリを見つける。その生息する場所により、標高の位置を確定できる。現在でもナスカ時代のカタツムリは見つかっていない。

### ◇瀧上 舞 山形大学人文学部客員研究員

ナスカのミイラ調査をして、ミイラの分析から古代の人の食べ物を調査している。神殿があり、地上絵も乾燥した場所であるが、川の近くに緑があり、中南米の食べ物、ジャガイモ・さつまいも・いんげんまめ・アカラチャ・根菜・とうもろこし・これらが原産。カラスウリ・食用ほおずき・とうがらし・トマト・アンデスにはジャガイモだけで220種ある。海もあるので、さかなや貝類もある。化石などによる食物の残りかすだけでは種類と量はわからない。そこで、ミイラの体から食の量や種類がわかる。肝臓や血管によりアミノ酸がわかる。ミイラの体から炭素と窒素の成分比を調べると何を食べたのか、量がわかる。魚や貝類、くじら・植物性はいも類と葉物類やきび・あわ・ひえ。

体は食べたものでできているので、炭素と窒素の成分量と成分比で何を食べたのかがわかる。12センチの髪の毛で12か月前の記録が残っていて、何を多く食べたか情報がわかる。ミイラの髪の毛を調査して、結果はジャガイモやとうもろこしを中心に色々なものを食べていた。

ナスカ時代の人たちとの比較で、その後の人はより、とうもろこしが多くなっている。ナスカ時代は食べるものが偏っていたが、その後は多種を食べるようになったことがわかった。これで社会の変化がわかった。

### ◇松本 雄一 山形大学人文学部准教授

### ◇坂井 正人 山形大学人文学部教授

#### <ナスカの地上絵の考古学研究>

ハチドリの大きさ約100m、蜘蛛は50m、猿は指が5本と4本、実際の猿ではないようだ。現実と違うものを描いている。具体的な動物の絵だけでなく、線や台形などの地上絵が200、線は1000本。直線は長いもので10キロくらいある。海岸から50キロの地域、アンデス山脈の手前、草木は生えてい

ない地域。川の部分にのみ農作されている。緑地帯を松本先生が調査して、居住地と慰霊場のとなり地上絵がある。すぐ近くに墓がある。後に墓泥棒がいて土器を発掘して売っていた。

ナスカ調査団は山形大学とペルー政府と一緒に調査した。昨年センターが完成した。緑は山形大学のスクールカラー。一階は分析実験室 二階は居住スペース。

人工衛星図から新しい地上絵を発見した。人間の首の地上絵。10m程度の大きさの地上絵は首が離れているようだ、つまり首を切ることが行われていたようだ。

一つはいつ製作されたのか 地面から見えない。それはなぜ。「地上絵と宇宙人の関係」いつ作られたのか 土器の破片を調べて、紀元前400年から16世紀まで作られたようだ。インカ帝国まで作られ、スペイン人が入ったあたりで作られなくなった。卑弥呼の時代に、ハチドリなどが作られた。その後の小さなものが作られるようになっていた。製作方法は、地上の土をのぞく方法、先日天童中部小五年生が一時間で「ハチドリ」を作った。地面で見えなくても、おおよその場所は分かるので、書くことができる。

### ◇渡邊 洋一 山形大学人文学部教授

ナスカの地上絵において、人間が環境をどのように取り入れて生きているのかという認知心理学から考えた。ナスカは人の住めない土地。ナスカではどのように歩いていたのか？ どうやってここに来て、どうやって帰っていったのか。地上絵の位置の関係は。台地を歩くには目印が必要。奥にアンデス山脈が見えるが、2000メートル位の山で同じ景色なので無理、水が出ている場所や石の積んだものや地上絵そのものが目印になっている。ミラードーム、色々な絵は地上では良く分からないが、直線は良く分かる 目印になっていたのではないか。

### ◇本多 薫 山形大学人文学部教授

地上絵の中に動植物は少ない。直線は多い。線が一点で交わるラインセンターの部分も存在している。直線の上は人の移動と情報伝達があるのではないか。ネットワーク、通信網、航空網、交通網などは人の伝達や情報の伝達のためにつくる。情報を伝達する場合、一番近いところを使う方法が良いのか、あるいはそれがかなわない場合は迂回路を使う必要がある。ナスカ台地ネットワークの図を作成してみると、ラインセンターが130以上あるのが分かった。それは人の移動と情報伝達のために使ったと考えると、実際の土地を調べてみると別の道にもなり、ネットワークを作り上げていたようである。丘の部分がラインセンターになっており、とても土地として安定している場所であり、幹線と支線の関係でもあり、ネットワーク図になっているので、目的地まで歩くことが可能か調査して、ペルー人に協力してもらい、三人とも目的地に行くことができた。直線の地上絵は道、目印として利用されているものと考えられる。

## ★第3回本会議(16:00~17:00)



▲池田ガバナーエレクトよりあいさつ

## ★会員懇親の夕べ大懇親会(18:00~19:30)



▲800人を超えるロータリアンが参加。最後は、恒例の「手に手ないで」。



## ガバナー公式訪問



### 新庄ロータリークラブ

会長 三條 常夫

9月5日（木）に新関ガバナー、志田地区幹事、井上ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

ガバナーからの年度方針の説明では、「ロータリー活動は人生の部活動」とお話しされ、ロータリー活動を職業に生かすこと、楽しいことだけがロータリーではないといった言葉が大変印象に残っており、ロータリーへの熱い思いをお聞きすることができました。また、ロータリアンの3つの義務やガバナーが目指す「社会貢献するクラブづくり」、「地域に根ざしたロータリー」、「まずは自分たちが楽しめるロータリーづくり」の基本的な考え方をお聞きしました。

特に会員増強の話では、沢山の事例を用い、アイデアを持って勧誘すること、会員を育てることの重要性など、クラブ規模の適正会員数など真剣な討議をさせていただき、クラブ活性化に向け適切なアドバイスを賜りました。

新関ガバナーからは、多岐に亘り今後のクラブ運営の指針となるお話を賜り、感謝申し上げます。



### 村山ロータリークラブ

会長 氏井 隆夫

去る9月10日（火）新関ガバナー、井上ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えし、公式訪問が行われました。午前10時30分からの会長幹事会には、エレクト・副幹事も同席し、和やかな雰囲気の中クラブ運営等について、ガバナーより適切なアドバイスやご指導を賜り終了させて頂きました。

例会前に全員出席を確認し、記念写真の撮影を行いました。例会では、新関ガバナーの自己紹介に始まり、今年度の新たな組織「クラブ奉仕、新世代奉仕、地域奉仕の各グループ」についての説明があり、20名以下のクラブにも「一人がひとりを」という地域全体で増強に挑戦すること。クラブ奉仕には、出席率重視の前に実際に出席して他クラブを体感し、自分のクラブに生かし知合いの輪を広げて欲しいなどの力強い言葉を戴き、今後のクラブ運営に活用していきたいと思っております。大変ありがとうございました。



### 山形ロータリークラブ

会長 中村喜兵衛

9月11日、2800地区新関彌一郎ガバナーを迎えての公式訪問例会が開催されました。新関ガバナーは、ロータリーについて「クラブに行く事で、ほとんどの情報が手に入る。また、情報を与えることが出来る」と出席することの意義を説かれました。

本年度は、大小のクラブが柔軟に指針に対応できるよう「クラブ奉仕」・「新世代奉仕」・「地域奉仕」の三大グループ制を導入していくことを説明されたほか、

「国際ロータリーの根本である精神・目的をうまく取り入れて自主的に運営していくことこそが日本に根ざすロータリーの真髄」と、永年にわたるロータリーの実践をもとに大変貴重なお話を賜りました。



### 余目ロータリークラブ

会長 大滝 正博

9月17日（火）第2800地区内34クラブ目ということで、当クラブを訪問して頂きました。「今まで訪れたクラブは一つとして同じロータリークラブがなく、それぞれの伝統・特徴を生かしながら創っている、これは大変すばらしい事」とのことでした。メイクをすることによって自分たちのクラブを見つめ直す機会をつくっていきたくと考えます。

また復興支援に関しまして、当町は震災前から南三陸町とは姉妹町として交流があり、物心両面で支援して参りました。昨年度、宮城県の佐沼ロータリークラブと友好クラブになり、ロータリークラブ同士の交流も始めています。今後も引き続き協力して参りたいと思っております。



## ガバナー公式訪問



### 鶴岡東ロータリークラブ

会長 菅原 昭治

9月18日(水)10時過ぎ新関彌一郎ガバナー、志田泰久地区幹事、恩田次郎ガバナー補佐が例会会場であるグランドエル・サンに到着、10時30分当クラブから佐藤徹志会長エレクト、斎藤隆善副会長、陶山英夫幹事、そして私が出席、7名による会長幹事会開催。先ず私より本年度当クラブの活動方針説明後、新関ガバナーより質問やご助言があり、職業分類やクラブ委員会構成に関する具

体的事例については早速検討し、改善したいと感じました。

当方からは交換留学生ホストファミリーへの感謝状贈呈を提言しました。志田幹事からも色々なお話とご助言をいただきました。例会では新関ガバナーの卓越した講話があり、有意義にして素晴らしい訪問例会でした。



### 鶴岡南ロータリークラブ

会長 榎本久静子

9月26日(木)新関ガバナー、恩田ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。

例会に先立ち、次期会長、幹事を交えた会長幹事会では、榎本会長より今年度の活動方針と計画、クラブの実態について熱のこもった話があり、新関ガバナーにも当クラブのロータリークラブに対する向き合い方が素晴らしいとお褒

めのお言葉をいただきました。また、どうすればクラブが更に良くなるか、有意義なロータリーライフにするには如何にしたらいいのかをじっくり話し合うことが出来ました。

例会においても、終始和やかなムードで進められ、新関ガバナーのロータリーに対する想いなど、貴重なお話を拝聴することが出来ました。本当にありがとうございました。

## 第6ブロックインターシティミーティング報告



### 第6ブロックガバナー補佐 秋葉 隆子

2013~2014年度 第6ブロック I.Mが10月26日(土)ホストクラブ米沢中央RC仁科盛之会長の下、テーマ「友情を深めよう!!」を合言葉に開催されました。

国際ロータリー第2800地区より和田廣直前ガバナー、渡部保太郎パストガバナー、大友恒則パストガバナー、志田泰久地区幹事、遠くは今回のホストクラブである米沢中央RCと姉妹クラブの福島県白河西RC、そして第6ブロックより12クラブの会員約200人が米沢市のグランドホクヨウを会場に集まり、ロータリアンの熱気であふれました。

講演会では「ひょうたん島だよ人生は!!」と題し、山形大学准教授の伊藤悟先生が人としての有り様を自身の体験からわかりやすくユーモアを交えながらも「好奇心と正義感が人生の原動力」と熱い口調で語られました。

また懇親会には安部三十郎米沢市長、酒井彰米沢商工会議所会頭も参加され、「ひょっこりひょうたん島」の音楽が流れると、米沢中央RC会員か?当時の服装の人形達・・・?いや会員達が舞台上、通路で踊りだすと廻りに居合わせた会員も一緒に踊りだし、そこはまさにタイムスリップしたかのよう・・・。

いつのなくにぎやかで和やかな明るいこの会場に、満面の笑顔がとても印象的でした。

今回のこのI.Mが会員皆様の心の中に何らかの明るい灯を点し、友情を深めるきっかけになっていただければ大変うれしく思います。

米沢中央RCの皆さん本当にご苦勞様でした。

そしてありがとうございました。

## クラブ会員数 / 出席率

ブロック	No	クラブ名	2013.7.1		2013.10.31		年初からの増減数		10月出席率	累計出席率
			会員数	女性会員数	会員数	女性会員数	増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	(3)	38	(3)	0	0	61.62	65.64
	2	酒田東	33	(3)	33	(3)	0	0	85.70	90.40
	3	遊佐	12	(0)	12	(0)	0	0	78.53	90.12
	4	酒田中央	38	(0)	38	(0)	0	0	89.21	85.50
	5	酒田スワン	16	(6)	17	(7)	1	0	87.50	90.26
	6	酒田湊	15	(3)	15	(3)	0	0	80.00	87.36
第2ブロック	7	鶴岡	40	(5)	40	(5)	0	0	82.43	80.69
	8	鶴岡西	33	(4)	33	(4)	0	0	86.03	85.30
	9	余目	27	(0)	27	(0)	1	1	67.18	76.03
	10	立川	16	(0)	16	(0)	0	0	91.25	87.27
	11	鶴岡東	33	(1)	33	(1)	0	0	96.20	89.35
	12	鶴岡南	23	(4)	23	(4)	1	1	77.17	78.36
第3ブロック	13	天童	41	(3)	42	(3)	1	0	91.49	90.82
	14	東根	29	(0)	29	(0)	1	1	89.75	88.44
	15	天童東	49	(0)	50	(0)	1	0	78.47	81.64
	16	天童西	19	(0)	21	(1)	2	0	85.71	89.58
	17	東根中央	37	(1)	40	(1)	3	0	73.93	82.52
	18	村山	13	(0)	13	(0)	0	0	96.92	97.40
	19	新庄	17	(2)	18	(2)	1	0	83.33	83.33
	20	尾花沢	18	(0)	18	(0)	0	0	73.24	77.98
	21	最上	21	(1)	22	(1)	1	0	62.82	54.72
	22	尾花沢中央	15	(0)	14	(0)	0	1	95.71	94.59
	23	村山ローズ	22	(5)	21	(5)	0	1	66.60	70.41
	24	新庄あじさい	17	(0)	17	(0)	0	0	80.88	77.94
第4ブロック	25	寒河江	50	(0)	50	(0)	1	1	85.38	89.74
	26	大江	21	(2)	21	(2)	0	0	88.09	91.76
	27	河北	30	(0)	30	(0)	0	0	96.00	93.50
	28	寒河江さくらんぼ	38	(3)	38	(3)	0	0	85.33	83.08
	29	西川月山	17	(1)	19	(1)	2	0	77.65	76.78
第5ブロック	30	山形	90	(0)	94	(0)	5	1	98.52	99.00
	31	山形北	67	(0)	66	(0)	0	1	94.57	96.81
	32	山辺	21	(0)	22	(0)	1	0	98.10	97.37
	33	山形南	51	(2)	54	(2)	3	0	100.00	100.00
	34	中山	16	(0)	16	(0)	0	0	81.25	79.56
	35	山形西	93	(0)	96	(0)	3	0	92.40	91.96
	36	上山	11	(0)	11	(0)	1	1	86.36	87.68
	37	山形東	35	(0)	37	(0)	3	1	82.82	88.37
	38	山形中央	39	(3)	40	(3)	1	0	77.50	82.40
	39	山形イブニング	30	(1)	31	(1)	1	0	83.91	88.69
第6ブロック	40	米沢	53	(7)	56	(7)	3	0	85.00	87.92
	41	米沢上杉	50	(2)	51	(2)	1	0	98.53	96.93
	42	高島	50	(3)	50	(3)	0	0	76.00	72.25
	43	米沢中央	33	(4)	36	(4)	3	0	96.53	97.53
	44	米沢おしょうしな	27	(1)	27	(1)	0	0	83.95	86.11
	45	長井	30	(1)	32	(1)	2	0	64.58	66.81
	46	南陽	18	(4)	18	(4)	0	0	100.00	98.95
	47	白鷹	17	(0)	17	(0)	0	0	100.00	90.88
	48	小国	17	(0)	17	(0)	0	0	100.00	100.00
	49	南陽東	38	(1)	38	(1)	0	0	82.62	78.59
	50	長井中央	21	(1)	22	(1)	1	0	90.46	91.27
	51	南陽臨雲	27	(1)	27	(1)	0	0	66.67	65.51
合計			1612	78	1646	80	44	10	84.98	85.78

## 米山功労クラブの紹介

山形西ロータリークラブ 第26回米山功労クラブ

## 米山功労者の紹介



遠藤 栄次郎

所属クラブ：山形西RC

表彰名：第20回米山功労者メジャードナー



松村 澄男

所属クラブ：天童RC

表彰名：第4回米山功労者マルチプル



武田 良和

所属クラブ：山形西RC

表彰名：第1回米山功労者

## 文庫通信 (315号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会記念講演より

- ◎「人として野球人として」 小早川毅彦 [2013] 8p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「これからの日本について」 鳥越俊太郎 2013 2p (D.2740地区大会記録)
- ◎「愛と汗の心」 久世郁夫 2013 13p (D.2510地区大会記録誌)
- ◎「国際社会の中の日本」 五百旗頭真 2013 2p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「平和って、なに色?～私たちにできることを考えよう!」  
ロニー・アレキサンダー 2013 2p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「地域活性化と芸術(アートフォーラム)」 北川フラム(コーディネーター)  
2013 6p (D.2760地区大会記録)
- ◎「誰も書けなかった沖縄」 佐野真一 2013 4p (D.2580地区大会の記録)
- ◎「いま日本の平和を問う」 小川和久 2013 19p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「ガウディに挑む男を追う!!—職業人としての使命」 星野真澄  
[2013] 4p (D.2730地区大会記録誌)

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506  
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



# 12月の地区スケジュール ROTARY CALENDAR

日曜日	主要行事
12/1 日	
2 月	ガバナー会・GETS
3 火	ロータリー研究会
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	第1回地区チーム研修セミナー(※) ガバナーエレクト国際協議会出発歓送会(※)
8 日	
9 月	
10 火	
11 水	
12 木	
13 金	
14 土	鶴岡南RC20周年
15 日	米山奨学生選考試験
16 月	
17 火	上期報告会・懇親会
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	第4回青少年交換委員会・第3回青少年交換オリエンテーション

日曜日	主要行事
22 日	
23 月	(天皇誕生日)
24 火	
25 水	
26 木	
27 金	
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	
1/1 水	(元日)
2 木	
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	

ガバナー事務所  
年末年始休暇

(※) …池田年度事業



光 世

天童市の名称の由来にもなる、天の童(わらべ)が舞い降りてくるような光景に出会った。天童市矢野目にて。



国際ロータリー第2800地区

2013 - 2014年度

ガバナー 新関 彌一郎

ガバナー事務所

〒994-0026 山形県天童市東本町一丁目9-20

TEL.023-687-0208 FAX.023-687-0209

E-mail ri2800@muse.ocn.ne.jp

【今月の表紙】夜明けの時

風景を撮影する時に、いつも心が躍る「今日はどんな風景に出会えるだろう」。

期待感をいっぱい背負い天童高原スキー場に登ってみた。634(ムサシ)の松上部に朝日が当たり明るく染まってきた時、今シーズン活躍するであろうリフトが浮かびあがってきた。